

入れ歯は歯を失った部分(欠損部という)に人工歯で回復させる治療です。入れ歯がなるべくいいかといったことが複雑に影響してきます。

入れ歯は歯を失った部分(欠損部といふ)は個人的な感受性も影響しますが、欠損部がどこなのか、相手がどのような状況か、噛む力の強さがどれくらいかといったことが複雑に影響してきます。

入れ歯は歯を失った場合の相手の入れ歯に対する入れ歯のかかり方の違いは力れれにかかるよ

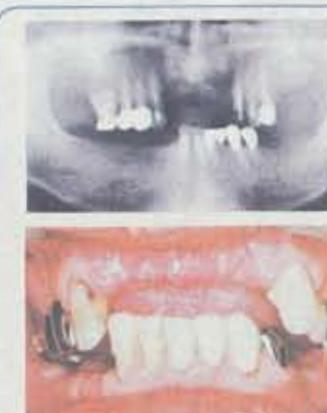
入れ歯を右下に向かって、右下に向かっては相手にどんでもうけると、自身の歯やインプラントかの入れ歯が安定しやすくなります。ご自身の歯やインプラントの人工歯が相手だと力が強すぎて、入れ歯にかかる負荷が大きくなります。その負荷が入れ歯を不安定にします。そのため、その力に対抗するようにするため

入れ歯は歯を失った部分(欠損部といふ)は個人的な感受性も影響しますが、欠損部がどこなのか、相手がどのような状況か、噛む力の強さがどれくらいかといったことが複雑に影響してきます。

入れ歯は歯を失った場合の相手の入れ歯に対する入れ歯のかかり方の違いは力れれにかかるよ

入れ歯を右下に向かって、右下に向かっては相手にどんでもうけると、自身の歯やインプラントかの入れ歯が安定しやすくなります。ご自身の歯やインプラントの人工歯が相手だと力が強すぎて、入れ歯にかかる負荷が大きくなります。その負荷が入れ歯を不安定にします。そのため、その力に対抗するようにするため

入れ歯かインプラントか



残存歯数が12歯ですれ違いの咬合。咬む位置が不安定で、欠損部の相手（下の前歯、上の左右奥歯）が強く、義歯には相当の負荷がかかる。治療後も義歯の破折などトラブルが起きやすいケース



遊離端欠損では最後方の人工歯に力がかかるとテコの原理で義歯が転覆してしまう。それに抵抗するためににはバネを強固にしたり、数を増やす必要があります。残存歯に負担がかかる。中間欠損は比較的安定する。

満足度を左右する複雑で多様な要因

入れ歯は歯を失った部分(欠損部といふ)は個人的な感受性も影響しますが、欠損部がどこなのか、相手がどのような状況か、噛む力の強さがどれくらいかといったことが複雑に影響してきます。

欠損部の相手とは例えば右下の奥歯を失った場合の右上の奥歯のことでです。右歯

このように一言で入力を使います。これを発揮します。

入れ歯といつても歯の失いの方で安定しやすいのかは違います。欠損様式によってはどうしても入れ歯は安定します。遊離端欠損は最も前方の人工歯に負荷がかからず入れ歯を転覆させます。

このように一言で入力を使います。

ルーセントデンタルクリニック副院長

後藤英夫

<略歴> 19

98年、東京医科歯科大学歯学部卒業。名古屋大学医学部遺伝子再生医療センター医員、国立長

寿医療センター歯科口腔外科勤務などを経て、2008年からルーセントデンタルクリニック副院長。

om. Egent - d.c. L 5 0 0 3 ン古 6 西 区 名 古 原 5 5 . 8 5 墓、タ 1 . 牛 島 5 5 . 2 クリニカル 8 5 9 電話 1 -セ 名 町市

**大人
のための
歯科治療の新潮流！
歯科講座**

=⑦=